



ジャック・オー・ランタン作る

NJ日本人学校で

ニュージャージー日本人学校(櫻井幹也校長)は、10月26日に初等部6学年合同のジャック・オー・ランタン作りを行った。今年度は農場で一人一人が選んだかぼちゃを使用し、校内で実施した。当日はESLから「ジャック・オー・ランタン」の作り方を聞き、一人一台のデバイスを使って写真を撮って描きたいデザインを試してみたり、検索して参考になるデザインを選んだりしていた。

楽しい
週刊NY生活
デジタル版
www.nyseikatsu.com

農場を見学

リセ・ケネディ

リセ・ケネディ日本人学校(新元良一校長)土曜課程小学2年生、3年生クラスは10月15日秋晴れの日、クイーンズ・カウンティ・ファームミュージアムへ校外学習に出かけた。ハイランドに乗って、パンピングパッチやコーンメイズを楽しんだ後、牧場内を見学した。2年生は、動物の特徴などに注目して気がついたことをメモし絵を描いた。ハローウィンの香りや羊の体からいろいろな発見をした。3年生は、牧場全体の動植物がどう関わり合っているかを考え、めんどりやクローバ、ミツバなどの役割や植え付けの工夫などについて観察した。広い敷地を歩いた後は、草地でのピクニック。みんな笑顔でおいしいお弁当を食べた。

ハロウィンパーティー

NY育英全日制で

ニューヨーク育英学園全日制部門(NJ州イングリッドクリフス、岡本徹学園長)は、10月28日にハロウィンパーティーを実施した。子供たちはそれぞれ思い思いの仮装をして登園し、教職員もいももとは違う個性的な姿で子供たちを迎えた。

パーティーは小学部のフアッシュンショールから始まった。お化けやかぼちゃ、蜘蛛やがいもなどが飾られた会場で、学年ごとにラウンウェイを歩いて仮装を披露し、その後、今日の自分は何になつてゐるかを発表。幼児部も同様に行つた。パーティーはMCも子供



リセ・ケネディハロウィンごっこ楽しい!

リセ・ケネディ日本人学校(新元良一校長)全日課程幼児クラスは10月31日、ハロウィンごっこを行いました。お菓子をくれるバッグを作ったり、おばけのダンスを踊ったりしてこの日を楽しく迎えていた子どもたちは、消防士、怪獣エ

生は、牧場全体の動植物がどう関わり合っているかを考え、めんどりやクローバ、ミツバなどの役割や植え付けの工夫などについて観察した。広い敷地を歩いた後は、草地でのピクニック。みんな笑顔でおいしいお弁当を食べた。



プリンストン日本語学校(津藤和彦校長)では、3週(10月16、23、30日)にわたり、授業参観を行った。感染防止等の安全対策で、各学年ごとに時間をずらし、人数制限をしながらの開催となった。

プリンストン日本語学校授業参観を行う

とっては、子供たちが日頃どのように授業に取り組んでいるかをじっくりと見ることが出来る良い機会となった。子供たちが一生懸命発表する姿をそれぞれの思いで見つめる保護者からは、教員の熱心な指導に感謝する声も聞かれた。



した後、いよいよお待ちかねのトリック・オア・トリート。お菓子をくれるバッグを片手に「おばけいるかなあ」と言いながら7つの部屋を訪れた。普段は入ったことのない部屋に慎重に足を踏み入れていたが、お菓子が袋に入るとどの子の顔もほころんだ。今すぐお菓子を食べたい気持ちをぐっぐつとこらえつつ、満足した様子でハロウィンごっこを終了した。

週刊NY生活

教育なんでも相談室

「なぜこの大学に？」を問うエッセイの書き方

サトリ・カレッジ・プランニング カレッジ・カウンセラー 伴里美相談員(修士号及びカレッジカウンセラー資格取得)



Q 今年シニアで大学出願準備をしています。やっとメインのエッセイを書き終わり、大学のサプリメンタル・エッセイにとりかかろうとしているところです。それで自分の出願大学のエッセイの内容を調べたところ、大半は「なぜこの大学に入りたいのか?」という問いを聞いています。これを書くために知っておくべきことがあったら教えてください。(MA州、高校生)

A サプリメンタル・エッセイというのは、各大学が独自に設問や字数を決めて出願時に提出を求めるエッセイのことですが、この「なぜこの大学に入りたいのか?」を問うエッセイのことを、英語では「Why US エッセイ」とか「Why This College エッセイ」と呼んでいます。サプリメンタル・エッセイの中でも最もポピュラーな設問の一つです。このエッセイでは、自分が興味があつて勉強したいことや将来の目的などと、志望する大学の環境やプログラムがマッチしていることを説得力を持って示す必要があります。大学の自身をよく理解し、その上で大学に入りたくて強く望んでいる志願者を大学は合格させたいので、その熱意が文面からも伝わるように書けるかといですね。志願者が大学のことをあまり調べず、どこの大学にも使えそうなエッセイを書けば、大学は合格しても他の大学を選ぶかもしれないと考へ、その志願者を合格させないかもしれないと考へることを念頭に、エッセイを書く前にまず自分の専攻に関連したクラスや教授、プログラムなどを大学のウェブサイトで調べるとよいでしょう。教授の研究内容だけでなく、在学生のインタビューやサッチ内容について紹介されていることもあります。勉強以外にも

ていれば、その人に連絡してみたい。在学生のリアルな情報を得られずして入れることもできません。それでは逆に入れない方がよい大学の情報について例を挙げて説明したいと思えます。私のよく目にするエッセイで、大学を訪問してロケーションの良さや街の様子、キャンパスの外観をエッセイに書く人がいます。特にボストン周辺には多くの大学が存在するので、一つの大学にだけ当てはまる特徴ではない場合、書かない方が無難です。気候の良さやランキングの高さ、他に少人数のクラスや強固な同窓生ネットワークも多くの大学が誇っている。言及しない方がよいでしょう。また、学生がフレンドリーで居心地のよさそうな大学」というような表面的な感想も中身の無いエッセイになってしまうので避けたいものです。

自分が大学に入って取りたいクラスやプログラムなどを書く場合、単にそれについて列挙するのではなく、自分の興味や経験、そして将来の目標と照らし合わせて、なぜそれが自分にとって有益なのかを示していきましよう。このエッセイは大学に入ってから書くのではなく、過去の経験から現在までの自分を表す機会でもあるのですから。

本欄への相談は ●サトリ・カレッジ・プランニング E-mail: info@satoricollegeplanning.com https://satoricollegeplanning.com

KIKOKUSHIJO ACADEMY
English for a lifetime
帰国を待たずに始める KA の英語学習。
英語への興味を失うことなく今ある英語力を伸ばし続けるために、仲間とのびのび過ごせる学習環境づくりを大切にしています。
英語保持向上・中高帰国枠受験・国内海外大学受験・編入試験・英検・国連英検・TOEFL・SAT・ACT
Distance Learning at KA! 帰国子女アカデミーのハイレベルなレッスンをいつでも、どこでも。
DL Live: オンラインレッスンを世界中の仲間と一緒に。 DL Flex: 講師と二人三脚で学ぶエッセイライティング。
合格実績多数! 詳しくはHPをご覧ください。
帰国子女アカデミー
www.kikokushijoacademy.com
都立大学/明大前/西船橋/たまプラーザ/目黒/船橋
下北沢/吉祥寺/Distance Learning

広尾学園 中学校 高等学校
HIROO GAKUEN Junior & Senior High School
インターナショナルコース/医進・サイエンスコース/本科コース
広尾学園は、学校教育法の「一条校」です。海外帰国子女受け入れ指定校第1号として国際化する教育のニーズに応じてきました。トップレベルの英語教育の研究・実践で国内・海外での進学実績を伸ばしています。
ウェブサイト: http://www.hiroogakuen.ed.jp/
お問い合わせ: kokusai@hiroogakuen.ed.jp (国際担当: 岩崎)
〒106-0047 東京都港区南麻布5-1-14・東京メトロ日比谷線広尾駅徒歩1分